

## I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	04 09 01 08	重点政策分類	環境	所管部課	経済環境部水産林務課
事務事業名	木質ペレットプラント運営管理事業			担当課長名	今藤 康之
総合計画分類	C/D	名 称		作成者名	黒田 格男
政策	04	都市基盤・生活環境		担当歴	平成 29 年度から
施策	09	地球環境の保全		電話(内線)	535
基本事業	01	地球温暖化防止に向けた再生可能エネルギーの活用促進		事業年度	開始年度 H20 終了(予定)年度 -
H29会計区分	1	一般会計		新継区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算科目	款	6 農林水産業費		経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 補助・単独区分 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
	項	2 林業費		<input type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> その他	
	目	1 林業振興費			
予算書上の事務事業名	木質ペレットプラント運営管理費			根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載 伊達市木質ペレットプラント製造施設条例 伊達市木質ペレットプラント製造施設条例施行規則

## II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック						
	地球(温暖化対策)、木質ペレット使用者		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> 市民と協働 (委託・交付先等: 胆振西部森林組合)						
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載								
	再生可能エネルギーである木質ペレットの活用を促進することで、地球温暖化防止に貢献するとともに大滝区における産業の振興を図る。								
	成果	成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
① 木質ペレット出荷量		t	1,305	1,522	1,324	1,173	1,092	1,092	
②									
③									
成果指標の考え方・計算根拠等	①における数値は、現状維持として設定								
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載	木質ペレット生産量							
	t	1,234	1,503	1,430	1,110	1,084	2,000		
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載								
	森林整備(間伐)により排出されたカラマツ材等を活用して木質ペレットを製造し、使用者へ出荷した。								
	活動実績	活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度目標値
		「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載							
1 木質ペレット生産量		t	1,234	1,503	1,430	1,110	1,084	1,100	
2 営業活動の回数(PR活動)	回	2	1	1	1	1	2		
3 営業活動の回数(視察受入)	回	25	21	9	2	5	10		
活動指標の考え方・計算根拠等	①における目標値は、総合計画記載の木質ペレット目標生産量を記載。 ②は木質ペレットのPRイベント等実施、木質ペレットの提供回数により算出。 ③はこれまでの実績により算出。								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載								
	設備の修繕費用等が増加傾向にある他、灯油価格の変動により木質ペレット出荷量が落ち込み、事業収支が経常的な赤字となっている。								
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組み事項、設定した目標を具体的に記載								
	生産体制の見直し及び費用の平準化を目的とした設備更新計画の策定。 ペレット使用料金の見直し検討。								
	上記の重点的取組み事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載								
	<input type="checkbox"/> (平成29又は30年度)既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他							
<input checked="" type="checkbox"/> (平成30年度)改善を検討中(又は実施中)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 投入経費 <input checked="" type="checkbox"/> 人員の配置 <input checked="" type="checkbox"/> その他	指定管理制度への移行も視野に入れた委託業務内容の見直しや、設備更新計画の策定、使用料金見直し等の検討が必要である。							

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	04	09	01	08	重点政策分類	環境
事務事業名	木質ペレットプラント運営管理事業				CD	08

所管部課	経済環境部水産林務課
担当課長名	今藤 康之
作成者名	黒田 格男

### Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
<b>直接事業費 (A)</b> 千円	<b>51,183千円</b>	<b>62,757千円</b>	<b>69,764千円</b>	<b>61,513千円</b>	<b>66,777千円</b>	<b>76,206千円</b>
国・道支出金 千円						
地方債 千円						
その他特財 千円	31,116千円	39,940千円	33,340千円	26,475千円	26,784千円	31,000千円
一般財源 千円	20,067千円	22,817千円	36,424千円	35,038千円	39,993千円	45,206千円
<b>参考人件費 (B)</b> 千円	<b>1,644千円</b>	<b>1,746千円</b>	<b>1,738千円</b>	<b>1,720千円</b>	<b>1,702千円</b>	<b>1,751千円</b>
一般職員 千円	1,644千円	1,746千円	1,738千円	1,720千円	1,702千円	1,751千円
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,673千円	5,835千円
投入人員 人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
嘱託職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,664千円	2,722千円
投入人員 人						
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円						
投入人員 人						
<b>投入経費 C=(A+B)</b> 千円	<b>52,827千円</b>	<b>64,503千円</b>	<b>71,502千円</b>	<b>63,233千円</b>	<b>68,479千円</b>	<b>77,957千円</b>
<b>人件費比率 D=(B/C)</b> %	<b>3.1%</b>	<b>2.7%</b>	<b>2.4%</b>	<b>2.7%</b>	<b>2.5%</b>	<b>2.2%</b>

### Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観 点 別 評 価	<b>目的妥当性</b> 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	(法律等名称： ) ペレットの使用料金の見直しを行うと共に、市が事業主体となって推進していく必要がある。
	<b>有効性①</b> 成果が出ているか？ <input type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input checked="" type="checkbox"/> 少し成果が出ている <input type="checkbox"/> 思うように成果が出ない	再生可能エネルギーである木質ペレットの活用、地球温暖化防止については一定の成果が出ている。
	<b>有効性②</b> 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる <input type="checkbox"/> 向上は難しい	ペレットの使用料金見直しにより成果向上を図ることは可能である。
	<b>効率性</b> <input type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は難しい	稼働開始から10年が経過しようとしており、修繕料等が増加傾向にあることから、計画的な設備更新の策定により更新費用の平準化を企図するものであるが、経費が削減されるわけではない。
	<b>公平性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ 条例において使用料を設定しており妥当である。

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
<b>総合一次評価</b> <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	昨年に引き続き灯油価格の低迷により木質ペレットの需要は減少しているが、地球に優しい再生可能エネルギーであることに変化はなく、地球温暖化対策や大滝区の地域活性化・雇用の創出に貢献していることから、今後も広域的なPRによる木質ペレットの利用推進を行う必要がある。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	当事業は、地球温暖化対策及び大滝区の地域振興策を担っていることから、継続していかなければならない。プラントの収支は赤字であるが、設備の修繕等は計画的に実施してきており、引き続き経費の平準化に努めたい。また、ペレットの単価については、道内で一番安く料金改定も必要かもしれないが、これまでの普及に向けた営業等の経過もあることから、慎重に検討する必要がある。

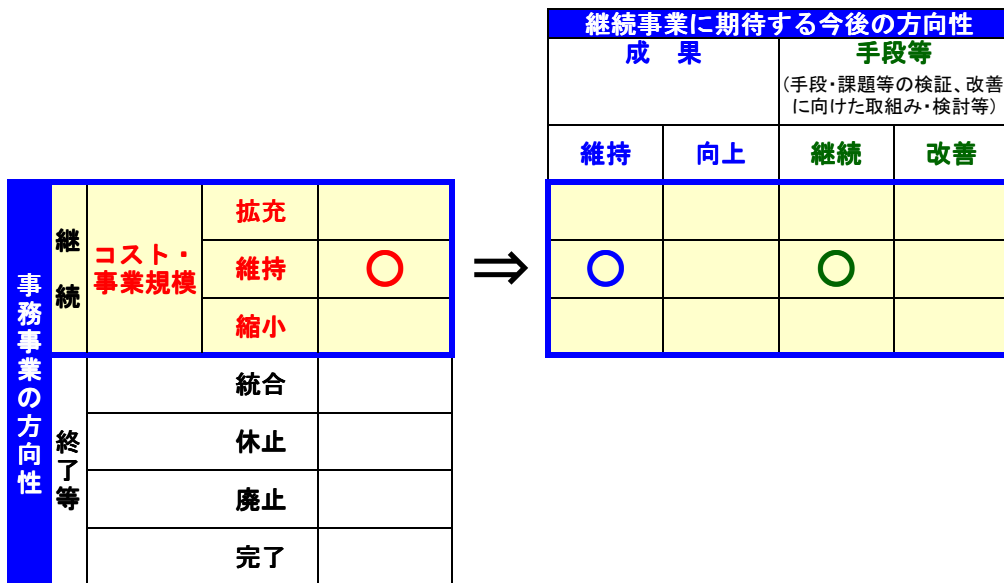
◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業	総合計画統括CD	04	09	01	08	重点政策分類	環境	所管部課	経済環境部水産林務課
事務事業名	木質ペレットプラント運営管理事業					事業CD	08	担当課長名	今藤 康之
								作成者名	黒田 格男

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○	
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		△
	有効性②	評価の凡例	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。	○
			大きく向上できる	△
	効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		△	
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		○
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合であっても、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		○

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他（特記事項・評価に関する補足事項等）

環境保全の視点や大滝区の産業振興の一部を担っていることなどから、経費について運営方法も含めて検証を行いながら事業を継続していくことを期待します。